

平成22年第3回定例会

一般質問通告書

流山市議会

平成22年第3回定例会一般質問通告書順

日付	順番	議 員 名	党及び会派名
9 月 7 日	1	森 田 洋 一	民 主 み ら い
	2	酒 井 睦 夫	改 革 2 1 市 民 ク ラ ブ
	3	中 川 弘	流 政 会
	4	藤 井 俊 行	民 主 党
	5	松 尾 澄 子	公 明 党
9 月 8 日	6	小 田 桐 仙	日 本 共 産 党
	7	徳 増 記 代 子	日 本 共 産 党
	8	松 田 浩 三	民 主 み ら い
	9	関 口 和 恵	公 明 党
	10	乾 紳 一 郎	日 本 共 産 党
9 月 9 日	11	高 野 と も	日 本 共 産 党
	12	松 野 豊	流 政 会
	13	高 橋 ミ ツ 子	社 会 民 主 党

質問事項	要 旨
<p>1 子育て支援について</p>	<p>(1) 保育所入所待機児童の現状と課題について                      ア 流山市では保育所増設や受入枠拡大により、保育所入所待機児童の解消を目指しているが、当局の現状認識と今後の解決策について問う。</p> <p>(2) 子育て支援とマーケティング戦略の連動について                      ア マーケティング戦略と子育て支援施策の充実の連動について当局の見解を問う。</p> <p>(3) ライフステージに応じた支援策について                      ア 長期定住のための子育て支援策の充実に対する取り組み状況はどのようになっているのか。</p>
<p>2 上下水道事業の統合に関する諸課題について</p>	<p>(1) 上下水道事業のSWOT分析（内的要因である強み・弱み、外的要因である機会・脅威）をどう捉えるのか。</p> <p>(2) 組織の改善について                      ア 組織編成による事業の改善と効率化を今後どのように実施するのか問う。</p> <p>(3) 財務体質の改善について                      ア 財務諸表をどのように分析し財務体質の改善を図るのか問う。</p> <p>(4) 中長期的な戦略について                      ア 諸課題の整理と課題解決策の優先順位をどのように設定して、中長期的戦略を立てるのか問う。</p>
<p>3 生物多様性について</p>	<p>(1) モニタリング調査の状況と野生動物の広域性の保護について問う。</p> <p>(2) エコツアーの実施について問う。</p>
<p>4 流山本町と利根運河を中心とした観光施策の充実について</p>	<p>(1) 本町見世蔵のオープンや利根運河でのレンタサイクル稼動に伴い、流山本町と利根運河の観光活性化につき市長の今後の取り組み姿勢を問う。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 小山小学校に対する評価について</p>	<p>(1) P F I 事業の評価について以下のとおり問う。                      ア 総事業費と国庫補助費及び移転補償費の内訳について                      イ 支出済み金額と今後の支出予定金額について                      ウ VFM (バリュー・フォー・マネー) 15%の検証についてどのように捉えているのか。                      エ S P C (特定目的会社) の評価をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 新しい取り組みに対する評価について以下のとおり問う。                      ア オープンスペース等の設計メリットはどのようなものと捉えているのか。                      イ 幼児教育研究室のこれまでの活動と、これからの活用についてどのように考えているのか。                      ウ 学校開放の課題をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) 今後の課題について以下のとおり問う。                      ア 児童数の激増にどのように対応していくのか。                      イ 小山小学校での事例を参考に、今後、他校においてどのような活用を考えているのか。                      ウ 今後も P F I を採用する考えはあるのか。</p>
<p>2 「地域まちづくり協議会」の現状と方向性について</p>	<p>(1) 平成22年度中にモデル地区2か所を選定することとなっているが、その具体的スケジュールは現在どのようになっているのか。                      (2) モデル地区で取り上げる重点テーマとは何か。                      (3) 重点テーマとして下記内容を取り上げてはどうか。                      ア 各自治会に「高齢者担当役員」を設置すること。                      イ いわゆる「婚活」のサポートを行うこと。                      ウ ホームページ立ち上げの助成を行うこと。</p>
<p>3 英語教育のあり方について教育長に問う</p>	<p>(1) 平成23年度より小学校の英語教育が本格的に導入されるが、日本の英語教育の問題点は何と認識しているか。                      (2) 英語教育を「流山市の教育の特長」にするにはどうすればよいと考えるか。                      (3) 英語教育について小・中学校の連携はどのように図る予定か。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 指定管理者制度導入 5年間の総括について 問う</p>	<p>(1) 市民サービスの向上と行政コスト削減を目的として導入した指定管理者制度が本年度末に最初の契約期間5年が終了する。今後も本制度を維持継続するためにこの5年間の総括が必要と考えるが以下のとおり問う。</p> <p>ア 単年度毎の評価では良好、概ね良好と報告されている事業評価であるが、これと異なる評価も側聞する。当局として、本制度5年間でどの様に総括しているのか。</p> <p>イ 総括を受け、来年度からどの様な見直しを実施すべきと考えているか。</p>
<p>2 公共用地全般の緑の 維持管理の在り方につ いて問う</p>	<p>(1) 公園、街路樹など多くの緑が維持管理されているが、その多くが伸びるに任せ手入れされているとは言い難い状況である。予算制約もさることながら緑は一切切るべきでは無いと云う誤った認識に基づく市民からのクレームの存在が大きいと聞くが、以下のとおり問う。</p> <p>ア 緑の手入れには密集しすぎた場合の間引き及び伸びすぎた枝の剪定は必須であるが、それが適切に実施できていないことにつき当局の認識を問う。</p> <p>イ 緑の手入れとはどの様なものか、もっと行政として市民にPRすべきと考えるがどうか。</p>
<p>3 自転車の交通安全対 策の在り方について問 う</p>	<p>(1) 自転車は環境意識の高まりもありエコな交通手段として今後もその重要性は益々高まるものと思われるがそれに伴いその安全対策の充実が必須と考えるが以下のとおり問う。</p> <p>ア 自転車は道路標識等で通行できることが示された歩道を通行することができるが、まちづくりの進展に伴いその見直しが適切に行われているとは思われない。この10年間どの様に見直しが行われたのか。</p> <p>イ 一方で自転車側のマナーの悪さは目を覆うべき状況であり単に啓蒙といった方法では改善は不可能と言える。徹底した取り締まり等を実施すべきと考えるがどうか。</p>
<p>4 旧第二庁舎解体工事 が9月からとなった理 由について問う</p>	<p>(1) 本年3月に新第二庁舎が完成したにも関わらず、旧第二庁舎の解体が漸く9月から開始されているが第二庁舎建替えでは隣接する公園を臨時駐車場とする事で近隣住民に多大な迷惑をかけている。解体工事の遅れはそのまま公園の現状復帰の遅れに直結することから、解体着手まで5ヶ月間もかかった事は大いに問題である。ついては以下のとおり問う。</p> <p>ア なぜ解体着手迄5カ月も必要であったのかその理由を問う。</p> <p>イ 現在の公園の現状復帰時期の見込みはいつか。又、当局においては現状復帰を一日でも早くするための努力を行うべきと考えるがどうか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 中部地区の防災対策について</p>	<p>(1) 西初石 1・2 丁目の避難場所や避難所の現状について問う。</p> <p>(2) 西初石 1・2 丁目自治会から要望がある防災倉庫の設置と市有地の貸借についての可能性を問う。</p> <p>(3) (株) ドーハン初石総合グランドや三井生命保険 (株) 研修センター等の民間企業と災害協定を行政主導で結ぶべきと思うがどうか。</p>
<p>2 市道東深井・市野谷 2 号幹線の交通対策について</p>	<p>(1) ぐりーんバス運行の可能性について問う。</p> <p>(2) 民間バス運行を積極的に進めていくべきと思うがどうか。</p>
<p>3 審議会等のあり方について</p>	<p>(1) 各審議会等における市民参加の現状について問う。</p> <p>(2) 各委員の位置づけの中で「学識経験者」という表現があるが、もっと市民に分かりやすい表現にすべきではないか。</p> <p>(3) 審議会等の傍聴者に対して、会議資料の提供やテーブル席の確保等は公開する側の市民サービスとしては当然のことと考えるが当局の見解を問う。</p> <p>(4) 審議会等の開催広報の遅れや、傍聴者数の限定の表記について広報活動に課題があると思うが当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
1 国との人事交流について市長に問う	<p>(1) 環境部長の職に3代続けて環境省からの出向者が就いているが、これまでの成果と今後の期待について問う。また、環境行政分野に関して、市職員の育成はどのように考えているのか市長の見解を問う。</p>
2 環境行政について	<p>(1) 市は、資源物の行政回収を廃止し、リサイクル団体による集団回収に一元化する方針だが、市民への周知、リサイクル団体の育成について、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 森のまちエコセンター(流山市汚泥再生処理センター)について以下のとおり問う。</p> <p>ア 本年4月の稼働から約5ヶ月が経過したが、剪定枝の搬入状況とたい肥の利用状況について</p> <p>イ 一般家庭から排出される剪定枝は、燃えるごみとして焼却されることが多いが、このごみも市が行う「緑のリサイクル」のシステムに組み込むべきと思うがどうか。</p>
3 高齢者福祉について	<p>(1) 特別養護老人ホームの待機者の現状と地域密着型サービス(グループホーム)の整備状況について問う。</p> <p>(2) 低所得者層の老老介護の実態をどのように把握し、認識しているのか。あわせて、在宅介護を支援するため、紙おむつの支給の拡大を図るべきと思うがどうか。</p>
4 ワンストップサービスについて	<p>(1) 死亡や出生に伴って新たな手続きが必要となるが、受付窓口を一本化し、市民の負担を減すべきではないか。</p>
5 妊婦一般健康診査について市長に問う	<p>(1) 健やかな妊娠、出産のために欠かせない定期健診に係る国の補助が今年度で終了するが、現政府に補助の継続を強く要望するとともに、市としても14回実施を継続していくべきと思うがどうか。また先日行われた「事務事業の廃止、見直し等の検討会議」で、継続、拡充という結果が出されたが、今後、市長はどのように対応するのか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) つくばエクスプレス (TX) の東京駅延伸について問う。                      ア 東京駅延伸については、市財政や首都圏新都市鉄道㈱の経営に対する影響、市民生活への効果などの情報を公開すべきではないか。                      イ 沿線巨大開発のゆきづまりは、TXの東京駅延伸だけでは打開できないと考えるがどうか。</p> <p>(2) 総合体育館の建替え事業について問う。                      ア 事業の進捗状況と、体育協会等施設利用団体との協議はどうか。                      イ 様々な課題を抱えるPFI方式を中止し、直接建設方式に切り替えるべきではないか。</p> <p>(3) 事務事業の廃止・見直し等 (流山市版『事業仕分け』) の取り組みについて問う。                      ア 8月28日に公開で開かれた事務事業の廃止・見直しの検討結果について問う。                      イ 付随する関係事業も含めTX沿線巨大開発にこそ具体的な仕分けのメスを入れるべきと考えるがどうか。</p>
<p>2 子どもの福祉・教育について</p>	<p>(1) 国連子どもの権利委員会による日本政府への勧告は、1998年、2004年に続き、今年で3回目となる。教育や福祉分野で、国でも自治体でも子どもの権利を守る取り組みの強化が必要と捉えているが、見解を問う。</p>
<p>3 中部地域のまちづくりについて</p>	<p>(1) 東初石2丁目、通称ニワトリ公園北側の市道の安全策について                      (2) 県道豊四季高田原線の歩行者の安全確保策について                      (3) 都市計画道路市野谷東深井線ぐりーんバス西初石3丁目バス停地先の交差点の歩行者の安全対策について</p>

質問事項	要 旨
<p>1 保育行政について 市長に問う</p>	<p>(1) 公立保育所に対する国庫補助の一般財源化や公務員定数削減の政策転換など国に要求すべきではないか。</p> <p>(2) 名都借保育所と長崎保育所は、老朽化のため施設を取り壊し民設民営へ移行するというが、待機児・少子化が問題になっているときに、現に存在している公立保育所を廃止すべきではないと思うがどうか。</p>
<p>2 生活保護行政について</p>	<p>(1) 生活保護の各種加算など、漏給（申請漏れ・支給漏れ）をなくすための取り組みはどうあるべきと考えているのか。</p> <p>(2) 生活保護世帯における熱中症対策について</p>
<p>3 住宅用火災警報器について</p>	<p>(1) 流山市の火災警報器の設置率は国・県の平均よりも低いといわれているが、その原因は何と分析しているのか。</p> <p>(2) 「設置済シール」による設置率向上策だけではなく、経済支援策と設置支援策が必要ではないか。</p> <p>(3) 老人日常生活用具給付に係る事業を抜本的に改善すべきではないか。</p>
<p>4 向小金1丁目83 8番地付近の市道への歩道設置について</p>	<p>(1) 市道261号線と国道6号線が交差する名都借交差点付近は車の量が多く小中学生も通学している。歩行者の安全のため歩道の設置をすべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 自転車による事故防止策について</p>	<p>(1) 自転車は、環境に優しく経済的で健康の維持に最適な交通手段であるが、反面自転車による事故は少なくない。そこで以下について問う。</p> <p>ア 本市での自転車事故の現状はどのような状況なのか。</p> <p>イ 本市での自転車走行できる歩道の整備状況について</p> <p>ウ 他市で自転車と歩行者による事故で高額な賠償金が発生した事例があったと聞いている。そこで本市でも保険加入促進の啓発が必要と考えるが当局の見解を問う。</p> <p>エ 自転車の安全利用に関する条例の制定について当局の見解を問う。</p>
<p>2 道路の改修・改良について</p>	<p>(1) 江戸川台東 2 丁目 2 5 1 番地付近の市道 13002 号線と市道 08009 号線の交差する道路は、横断歩道の設置を含め、安全に配慮した新たな歩道整備が必要と考えるが、花壇の撤去を含めた道路整備の可能性について、当局の見解を問う。</p>
<p>3 認知症対策の施策について</p>	<p>(1) 認知症対策においても地域社会で支援することが重要と考える、そこで以下について問う。</p> <p>ア 本市の認知症の方の実情として、当局は、認知症と診断された方の数、施設入所者数、年代別の比率等について、どのように把握しているのか。</p> <p>イ 認知症の方に対する支援体制はどのように構築されているのか。</p> <p>ウ 認知症における早期発見の診療体制の確立が必要と考えるが、当局の見解を問う。</p>

質問事項	要 旨
1 福祉行政について	(1) 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について市の考えを問う。
2 教育行政について	(1) 薬物乱用防止の取り組みについて ア 薬物乱用防止キャラバンカーを活用し、市内中学校を対象にして薬物乱用防止の啓発を行ってはどうか。 (2) 熱中症対策として、学校体育館に大型送風機を設置してはどうか。
3 市営住宅の入居について	(1) 全国では、保証人免除を実施している自治体もあるが、本市で導入する考えはあるか。 (2) 多回数落選者優先制度について
4 災害対策について	(1) 災害時のオストメイトに対する支援について ア 本市のオストメイト対応多目的トイレの設置状況と今後の対応について イ ストーマ装置者への緊急支援体制について ウ 災害時におけるオストメイトに対する簡易トイレの整備対応について
5 商工行政について	(1) 流山市ふれあいカードで市税や公共料金を納付できる制度の導入について当局の見解を問う。

質問事項	要 旨
1 障害者福祉について	(1) 重度障がい者医療制度の改善について (2) 福祉タクシー制度の充実について
2 介護保険について	(1) 2012年に制度見直しが予定されているが、誰もが安心できる介護保険制度をどう実現していくのか市長に問う。 ア 介護保険制度の10年をどう評価しているのか。 イ 介護を苦しめた痛ましい事件が今なお続き、介護現場では深刻な人材不足に苦しんでいるが、現在の介護問題をどうとらえているのか。 ウ 利用者・家族や事業所への介護調査で市内の実態を把握するとともに、制度の抜本的見直しを国に働きかけていくべきではないか。 (2) 増え続ける流山市における特別養護老人ホーム待機者をどう解消していくのか。 (3) 住宅改修費助成の拡充について問う。
3 南部地域のまちづくりについて	(1) 都市軸道路計画の見直しに沿道住民の声・要望をどう反映させるのか。 (2) 県道柏流山線の道路改修について問う。

質問事項	要 旨
<p>1 医療保険制度について市長に問う</p>	<p>(1) 後期高齢者医療制度について                      ア 8月から初めて高齢者に短期保険証が交付されることになったが、その対応について                      イ 政府は制度を即時廃止し、安心できる医療制度へ転換を図るべきと思うがどうか。</p> <p>(2) 国民健康保険制度について                      ア 保険料の負担増は加入者の医療を受ける権利を奪っているのではないか。                      イ 制度の広域化は住民と自治体に矛盾を押し付けることになるのではないか。</p>
<p>2 教育行政について</p>	<p>(1) 市立江戸川台幼稚園の廃止と幼児教育支援センターへの移行について</p>
<p>3 運河駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>(1) 運河駅東口の開設について                      ア 事業はどこまで進んでいるのか。推進のための住民合意は確立されているのか。                      イ 東武鉄道との交渉内容と進捗状況及び費用負担について                      ウ 基金条例に基づく寄付行為はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 運河駅周辺の整備について、北側や西口を含めた周辺の整備構想を住民に示し、コンセンサスを得るべきではないか。</p>

質問事項	要 旨
<p>1 事業仕分けのあり方について</p>	<p>(1) 8月28日(土)午前9時から午後5時まで「事務事業の廃止・見直し等の検討会議」が開催されたが、そもそもこの会議の目的は何か。どんな効果を狙ったものなのか。また、この会議の成果を当局は、どのように受け止めているのか。</p> <p>(2) この事業仕分けで対象となった次の事業評価について問う。</p> <p>ア 観光協会支援事業について</p> <p>イ マタニティキーホルダー作成事業について</p> <p>(3) 事業仕分けは、選挙によって選ばれた市民の代表である議員の集合体である市議会が主導をして、決算審査特別委員会や監査との関係にも配慮しながら、実効性のあるものとして、再検討していく必要があると考えるがどうか。</p>
<p>2 職員の人事マネジメントのあり方について</p>	<p>(1) 人材育成基本計画の策定スケジュールと、その工程および、市議会に対する計画(案)提示の時期について、改めて問う。</p> <p>(2) 職員の不祥事や日頃の勤務態度、綱紀肅正について、改めて問う。</p> <p>(3) 職員の残業実態について問う。</p>
<p>3 シティセールス戦略について</p>	<p>(1) 松戸～成田間の空港路線の流山おおたかの森への延伸について問う。</p>

質問事項	要 旨
1 福祉行政について	<p>(1) 求職中における保育所入所申し込みの実態と、入所申し込み手続きについて問う。</p> <p>(2) 保健と福祉に関するさまざまな相談を受け付ける福祉総合相談窓口の設置について問う。</p>
2 誰もが楽しめる軽スポーツの振興と普及活動について	<p>(1) ヘルスバレーボールの現在の活動状況と普及活動について問う。</p> <p>(2) パークゴルフ場の整備について                      ア 7月6日付けで市長に提出された「パークゴルフ場整備の要望書」に対する市長の見解について問う。                      イ 子供からお年寄りまでが気軽に楽しめるパークゴルフ場の整備について問う。</p>
3 新川耕地有効活用計画について	<p>(1) 産業系土地利用ゾーンとして位置づけられている流山工業団地南側の土地が田から畑への一時転用として埋め立てされた工事の進捗状況について問う。</p> <p>(2) 地元地権者連絡協議会の協議経過及び協議内容を当局はどのように把握し、今後の活用計画に生かしていくのかを問う。</p>
4 公契約条例の制定について	<p>(1) 野田市が制定した公契約条例をどう評価しているか。</p> <p>(2) 適正な労働条件や賃金水準を確保するため、本市においても公契約条例は有効な手段と考えるが当局の見解を問う。</p> <p>(3) 公契約の工事及び業務委託における労働者の安全対策について問う。</p> <p>(4) 近隣市等で開催されている公契約条例に関する任意の連絡会や学習会に参加し、調査研究をすべきと考えるが当局の見解を問う。</p>